

授業科目名 (英訳)		(医学領域)フロンティア型人材育成 特別講義 Frontier type Human Resource Development in Medical Science				担当者所 属・職名・氏 名		医学研究科 特定教授 鈴木 忍			
配当学年	修士・ 博士	単位数	2	開講年 度・開講 期	2021・ 後期 集中	曜時限	水5	授業形態	講義	使用言語	日本語
〔授業の概要・目的〕											
<p>医療関連分野を成長産業に育成し、世界に競合できる最高水準の医療を国民に提供するための医療イノベーションを起こすためには、時代の風を読む先見性を有する人材の存在が必要である。そうした人材には幅広い広い見識と深い洞察力、分析力そして判断力が求められる。さらに、革新的な医薬品・医療機器の開発においてオープンイノベーションが一般的になる中で、関係者間の相互理解を深めることができるコミュニケーション力や、物事を推し進めるための強いリーダーシップも求められる。ここでは、医療イノベーションの推進を担う人材に求められるオーケストレーション力を培うために最低限必要とされる知識及びスキルを身に着ける。</p>											
〔到達目標〕											
<p>LSS(リーンシックスシグマ)* の手法を理解し、プロセスエクセレンスを実現するためのチーム活動を体験して自ら実践できるようになり、現状からの課題抽出の上、その課題解決のためのアイデアを論理的に導き出せるようになる。</p> <p>*LSS: リーン(ムダ取り・効率化)とシックスシグマ(品質向上活動)を組み合わせた改善手法のグローバル・スタンダード</p>											
〔授業計画と内容〕											
<p>座学【6コマ程度】</p> <p>シックスシグマ概論(基本的なDMAIC手法を理解する)</p> <ul style="list-style-type: none"> チームビルディング(改善活動体感ゲーム「ビジュレーション」) チームファシリテーション チーム活動テーマの洗い出し チーム活動設計 <p>フィールドワーク【5コマ程度】</p> <p>座学で設定したチーム活動テーマ・活動設計(Dフェーズ)に沿って、「Mフェーズ(現状把握)」、「Aフェーズ(原因分析)」、「Iフェーズ(改善策検討)」、「Cフェーズ(管理定着化)」といったLSSの基本的なDMAIC手法を実戦形式で学ぶ。</p> <p>活動成果の発表(プレゼンテーション)【1コマ】</p> <p>振り返り・講義のまとめ【1コマ】</p> <p>(2020年度講義の詳細は以下を参照してください) https://www.mip.med.kyoto-u.ac.jp/frontier2020/</p>											
〔履修要件〕											
メディカルイノベーション大学院プログラム履修生対象。											
〔成績評価の方法・観点及び達成度〕											
平常点60%、最終プレゼンテーション40%で評価する。											
〔教科書〕											
授業中に指示する。											
〔参考書等〕											
授業中に指示する。											

[授業外学習(予習・復習)等]

授業中に指示する。

[その他(オフィスアワー等)]

※オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。